見過ごされた兆し

佐世保高1殺害事件

―③

「丸投げやんか。押し返せ」。長崎県佐世保市にある県の児童相談所。日頃、学校や病院など他機関からの相談に応じている職員を叱責する男性幹部の言葉が飛び、周りの職員は横目で見ながら黙々と仕事を進める―。

この幹部は赴任した2012年から、外部からの相談を安易に受けないよう強い口調で複数の部下に迫っていた。「パワハラがなければ、あの事件はもっとできることがあった」。ある職員は県の調査に言い切った。

事件が起きる約1カ月半前の昨年6月10日、当時15歳だった少女(16)を診察した精神科医は、父親を金属バットで殴打したことを児相に電話で報告。「放置すれば誰かを殺すのではないか」と伝えた。

電話を受けた職員は、幹部から叱責されていた一人。やりとりは20分程度で、医師は職員に「後日でも助言がほしい」と言い残した。電話を切った職員は宮崎慶太所長に口頭で報告。その日不在だった問題の幹部も翌日知ったが2人とも積極的に動くことはなかった。

県は昨年11月、大学教授や弁護士ら約10人で児相の対応を検証するグループを発足させた。これまでの3回の会合で「幹部の日常的なパワハラが、医師の相談放置を招いた可能性がある」という見方で一致。「十分な情報も得ないうちから『手件）の約3分の1に当たる。

全国的にみると、この10年で児相の児童福祉司は倍近くになったものの、それを上回る勢いで虐待に関する相談が増加している。

才村教授が行った03～07年の調査では、児童福祉司1人当たりの担当件数は、欧米や韓国が約20件なのに対し、日本は100件以上だ。才村教授は「非行相談が虐待相談の陰に隠れるケースは多いのでは。職員の増員に加え、技術と経験を十分積めるよう人事異動での配慮も必要だ」と児相の態勢見直しを訴える。

少年少女の非行は43件で、児童虐待（133件）の約3分の1に当

児童相談窓口がある佐世保こども・女性・障害者支援センター＝20日、長崎県佐世保市

医師の報告放置した児相

外部相談「押し返せ」

校庭の仮設完全撤去

宮古・田老三小で初

東日本大震災で、宮古市の田老三小のグラウンドにあった仮設住宅の解体工事が完了し、県が28日、用地を学校に返した。学校のグラウンドの仮設住宅が完全に撤去されるのは岩手、宮城両県で初めて。

県の担当者が昼ごろ、同校を訪れて整地の状況を確認し、撤去を問題なく終えたことを学校側に伝えた。昼休みには低学年の子どもらがサッカーをして走り回り、広くなったグラウンドを実感した。

県は震災発生後の2011年7月、同校のグラウンドの一部に13棟7戸分の仮設住宅を設置した。入居者は自宅を再建するなどして、昨年夏までに全員が転居したため、12月から解体工事を進めていた。

運動会などの行事では入居者と児童の交流があったといい、佐々木真也副校長は「寂しい気持ちもあるが、やはり広い方が子どもたちは気持ち良く動ける」と話した。

宮城、岩手両県は震災後、計62校の小、中、高校グラウンドに約4300戸の仮設住宅を建設した。自治体側は今後、優先的に撤去を進める。福島県は、学校のグラウンドには設置しなかった。

ゴールの後ろにあった仮設住宅が撤去され、広くなったグラウンドでサッカーをする子どもたち＝28日午後、宮古市の田老三小

大船渡で7月 流鏑馬公演へ

東照宮四百年祭

栃木県日光市の日光東照宮は28日、徳川家康の没後400年を祝う「四百年式年大祭」の記念事業で、広島市の被爆木との交換植樹を行うと発表した。7月には、日光市の姉妹都市である北海道苫小牧市、震災からの復興を祈願し大船渡市で、流鏑馬（やぶさめ）公演を予定している。

交換植樹は、ことしが戦後70年の節目でもあり、家康は太平の世をつくったとされることから、互いに平和を願う立場として計画。東照宮の境内に植えられているフウの木と、広島市の被爆アオギリの2世木を交換する。フウの木は、8代将軍吉宗が江戸城と東照宮に献上、その後東照宮では枯れてしまったものの1982年に昭和天皇から下賜された。

解体見送りを提案

宮城・南三陸防災庁舎　知事伝達、町は保留

東日本大震災の津波により、村井嘉浩知事は28日、町役場で佐藤仁町長と会談し、震災から20年の2031年までは県の所有とし、解体を事実上見送ることを提案した。

佐藤町長は「ボールは町に投げられた。町として考えたい」と、回答を保留した。

会談で村井氏は「庁舎を31年3月10日まで県有施設として維持、管理する。冷静な議論の後、結論を出してほしい」と述べた。町側は期限を設けず対応を検討する方針。

庁舎をめぐっては、佐藤町長が13年9月、保存に反対する遺族の意見を受け解体を表明。一方、震災遺構の保存を検討する県の有識者会議は今年1月、庁舎が「震災の象徴であり、高い保存の価値がある」とする報告書を県に提出した。

役場前には住民約20人が集まり「早期解体を要望します」などと書いた横断幕を掲げた。保存に反対する遺族団体代表の阿部勝衛さん(69)は「県は、遺族にも直接説明してほしかった。庁舎を見ると震災を思い出してつらい」と訴えた。

宮城県南三陸町長との会談を前に、同町の防災対策庁舎を訪れた村井嘉浩知事＝28日午前

福島県職員が線量計横流し

県、告訴を検討

福島県は28日、30代の男性職員が県所有の個人被ばく線量計180本（約375万円相当）を無断で持ち出し、約90万円で業者に売却していたと発表した。窃盗容疑での告訴を検討している。

県によると、職員は地域医療課に在籍し被ばく医療担当で、線量計の購入や管理をしていた2013年10～11月、181本を福島市のリサイクル業者や埼玉県の測量機器買い取り業者に売った。受け取った金をパチンコでの借金返済に充てたと話し、弁済する意向という。

高速道逆走 12%が認知症

昨年、全国の警察が把握した高速道路での車の逆走は224件で、運転手が認知症だったケースが12・1%に当たる27件に上ったことが28日、警察庁への取材で分かった。逆走で認知症の割合が年間1割を超えたのは、統計がある2010年以降初めて。人身事故22件のうち22・7%（5件）は認知症だった。

運転手が認知症だった割合は、10年（9～12月）

昨年・全国統計

が1・3%、11年が9・3%、12年が7・0%、13年が9・4%だった。10年から昨年までの平均は8・8%。

日航整理解雇は無効

客室乗務員訴訟・大阪地裁　賃金支払い命令

日本航空の会社更生手続き中に整理解雇された大阪府の元客室乗務員の女性が、解雇は不当だとして地位確認などを求めた訴訟の判決で、大阪地裁（中垣内健治裁判長）は28日、解雇を無効と判断し、会社側に未払い賃金の支払いを命じた。

日航の元客室乗務員や元パイロット約140人が同様に起こした集団訴訟では、東京地裁、高裁とも解雇を有効と判断。原告側が最高裁に上告している。

判決によると女性は40代で、2008年から日航に正社員として勤務。欠勤や遅刻をせずに業務を続けていたが、皮膚疾患にかかり10年5月から同年10月まで休職したことから、整理解雇の対象になり、10年12月末に解雇された。

日航は、病気欠勤や休職、年齢などを考慮した解雇対象の人選基準を10年9月に労組に提示。11月になって「9月の提示時点までに職場復帰した職員は対象外」とした。判決は「11月までに復職できた人が解雇対象となるのは不合理だ。10月に復帰した女性は対象外」と判断した。

少女、あす家裁送致へ

佐世保高1殺害容疑

長崎県佐世保市の高1女子生徒殺害事件で、長崎地検佐世保支部は28日、父親を金属バットで殴打したとして殺人未遂容疑で再逮捕された少女(16)の勾留延長を請求せず、30日に家裁送致する方針を固めた。送致容疑には、処分保留となっている殺害事件の殺人と死体損壊容疑も含まれる。

維新陣営の2人 買収容疑で逮捕

青森・昨年衆院選

青森県警は28日、昨年の衆院選で選挙運動の報酬に現金を渡したとして公選法違反（買収）容疑で、青森1区から出馬し比例代表東北ブロックで復活当選した維新の党、升田世喜男氏陣営の運動員で農業、吉田俊逸容疑者(64)＝青森県五所川原市＝を再逮捕し、農業小浜瑞俊容疑者(47)＝同＝を逮捕した。

逮捕容疑は、昨年12月14日の投開票日ごろまでに、升田氏への投票を電話で呼び掛けることなどの報酬に、運動員数人に現金計数十万円を渡した疑い。

カンボジア投資詐欺で13人逮捕

全国で被害か

カンボジアの不動産に絡むうその投資話で金をだまし取ったとして、神奈川など13道県警の合同捜査本部は28日、詐欺の疑いで、福岡市西区福重、アルバイト米沢靖之容疑者(54)や東京都、神奈川県に住む男女の計13人を逮捕した。39都道府県の二百数十人から計二十数億円をだまし取ったとみて調べる。

合同捜査本部によると、米沢容疑者はカンボジアの不動産会社の代理店「FIRST不動産」社長を名乗っていた。国民生活センターによると、同国の不動産投資をめぐる相談は2011年10月から約2千件あり、FIRST不動産関連が700件以上を占める。

逮捕容疑は、神奈川県横須賀市の70代の無職女性に、経済成長が著しいとうたってカンボジアの不動産に関するパンフレットを送り付けた後、証券会社社員を装い「代わりに買ってほしい」と持ち掛け証券会社が高値で買い取ると信じさせ、13年7月、600万円をだまし取った疑い。

タイ 邦人相手に詐欺 女装容疑者逮捕

女装をして詐欺を繰り返していたウタイ容疑者（タイ警察提供）

【バンコク共同】タイ警察は28日、首都バンコク中心部の日本人が多く住むスクンビット通り周辺で女装をして日本人相手に詐欺を繰り返していたタイ人の無職の男、ウタイ容疑者(40)を逮捕したと発表した。同容疑者は「若い頃に日本人にだまされたから」などと動機を話しているという。

同容疑者は韓国や台湾、香港、シンガポールから来たと名乗り「かばんをなくした」などと言葉巧みに道行く日本人に借金を依頼。「家族が送金する」と言って、被害者に現金自動預払機（ATM）から金を引き出させていたという。

調べによると被害額は多い人で200万バーツ（約726万円）、通常は5万～10万バーツ。同容疑者は10年近く犯行を繰り返していたとみられ、100人以上をだましたと話しているという。

ニュースクリップ

■妖怪メダル複製品販売の疑い　神奈川県警伊勢原署は28日、アニメやゲームで人気の「妖怪ウォッチ」の関連グッズ「妖怪メダル」の複製品をインターネットで販売したとして、著作権法違反の疑いで、大阪府東大阪市中鴻池町1の3の22、無職大坂恒平容疑者(27)を逮捕した。

逮捕容疑は昨年10月、ネットオークションで東京都稲城市の女性と川崎市の女性に、キャラクターのシールを貼ったメダル計4枚（5千円）を販売した疑い。署は本県を含む41都道府県の約240人に販売し約75万円を売り上げたとみている。

■慶大准教授を追起訴　徳島大病院の情報システム業務をめぐる贈収賄事件で、大阪地検特捜部は28日、受注業者から現金約142万円を受け取ったとして、収賄罪で元徳島大病院情報センター部長の慶応大准教授森川富昭容疑者(45)＝休職中＝を追起訴した。同罪の起訴は2度目。捜査関係者によると、現金は飲食費などに使ったという。

■GPS捜査「違法ではない」　裁判所に令状を請求せずに、窃盗事件の捜査対象者の車両に衛星利用測位システム（GPS）端末を取り付けた大阪府警の手法について、大阪地裁（長井秀典裁判長）は28日までに「プライバシーの侵害は大きくなく、重大な違法とはいえない」との判断を示した。

GPS捜査で得た証拠の採否をめぐる刑事裁判の決定で出された。被告の弁護人によると、GPS捜査は警察庁が2006年に内規で基準を定めて運用されているが、司法判断は初めて。

■1票の格差、札幌は3月結審　「1票の格差」が是正されずに実施された昨年12月14日の衆院選は違憲として、弁護士グループが北海道内の全12選挙区について選挙の無効（やり直し）を求めた訴訟の第1回口頭弁論が28日、札幌高裁（佐藤道明裁判長）で開かれた。次回3月18日に結審の見通し。

二つの弁護士グループが起こした一連の訴訟で弁論が開かれるのは初。被告の道選挙管理委員会は請求棄却を求めるとともに、2月9日と3月3日に予定されている衆議院選挙制度調査会での議論を踏まえて追加書証を提出する意向を示した。

■関電「安全性確保」と主張　関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）と大飯原発3、4号機（同県おおい町）の運転差し止めを求め、周辺住民らが申し立てた仮処分の第1回審尋が28日、福井地裁（樋口英明裁判長）で開かれ、関電側は「十分に安全性は確保されている」として、申し立ての却下を求めた。第2回審尋は3月11日の予定。

■吾妻山で火山性微動　仙台管区気象台は28日、吾妻山（山形、福島県）で同日朝、火山性微動を観測したと発表した。噴火警戒レベルが1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げられた昨年12月12日以来。気象台は「噴火の可能性が高まっている状況ではない」としている。

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。